

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 新宿区立西戸山小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒169-0073
東京都新宿区百人町4丁目2番1号

E-mail _____

Website <http://www.shinjuku.ed.jp/es-nishitoyama/index.html>

児童生徒数 男子 237名 女子 241名 合計 478名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1 活動内容

- ・毎年、『ユネスコ週間』を設けて、ユネスコの理念普及と国際文化理解学習、人権学習及び、募金活動を実施する。
- ・国際理解学習を「総合的な学習の時間」に位置づける。
- ・ユネスコの取り組みを児童会活動に常時活動として位置づけ(ユネスコ委員会)、児童がユネスコ週間の運営をする。また、ユネスコやユニセフ、国際理解を促す内容を各学期1回(年3回)のユネスコ集会でユネスコ委員会が発表する。
- ・災害支援のための募金活動を、ユニセフなどの機関を通じて随時行う。
- ・エコキャップ回収を呼びかけ、業者に回収をしてもらう。
- ・落語家の柳亭こみちさんを招き、日本の伝統文化である落語の体験教室を行った。

2 各学年での取り組み

- ・1～2年生は、生活科や道徳の時間などを使って、伝統文化や環境について学習する。
- ・3～6年生は、総合的な学習の時間などを使って、ユネスコ委員会は委員会の時間などを使って、国際理解・人権福祉・環境学習について学習する。
- ・『ユネスコ週間』や大きな災害が起こったときに、ユネスコ委員会が発案して朝の時間帯に募金活動を行う。
- ・『ユネスコ週間』に各学年の取り組み内容をユネスコ広場に掲示する。
- ・日常的にユネスコ広場にユネスコ活動に関わる内容を掲示する。
- ・ユネスコについて調べたことや国際理解を促す内容をユネスコ委員会が集会で発表する。

3 ユネスコ委員会活動

新しい取り組み ■ユネスコパスポートを活用した取り組み

① ねらい

- ・自国や世界の国々、地域の文化や生活についての学習会を通して、体験的に学び、豊かな国際感覚を培い、また、世界の問題について考える機会とする。
- ・心の中に平和の砦を築くというユネスコの精神を集会や募金活動を通して育む。
- ・学年で取り組んだ学習体験を全校に紹介し、学びの広がりを図る。また発表を通して学びの充実感を味わう。

② ユネスコ週間の取り組み(ユネスコスクールとしての取り組み)

- ・国際理解・人権福祉・環境学習(生命・人権・福祉・健康・共生社会・環境・ESD)のまとめ・紹介・発表の場
- ・国際社会の理解と参加の機会(ユネスコ、ユニセフの活動についての理解と募金活動への参加)
- ・ユネスコの理念の普及

③ 期間

1月13日(金)～1月21日(土)の1週間

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ユネスコ委員会の活動として実施）